

平成31年度(2019年度)

定例講座受講生募集

講座名	開講日	開講時間	対象学年	定員	受講申込金
書道 A	毎月第1・2・3月曜日	16:30~18:00	小学3年~中学生	20名	4,200円
書道 B	毎月第1・2・3水曜日	16:00~17:30	小学1年・2年生	12名	
書道 C		17:30~19:00	小学3年~中学生	20名	
珠算 A	毎週 火曜日	16:30~17:45	小学1年・2年生	各20名	5,700円
珠算 B		17:45~19:00	小学3年~中学生		
珠算 C	毎週 水曜日	16:30~17:45	小学1年・2年生		
珠算 D		17:45~19:00	小学3年~中学生		
英会話	毎月 奇数週 月曜日	16:00~17:15	小学1年~3年生	15名	3,400円
健康教室 A	毎月第2・4火曜日	13:30~14:45	満60歳以上の市民	各20名	3,300円
健康教室 B		15:00~16:15			



一発行一

宝塚市立まいたに人権文化センター
宝塚市今里町5-1-1

電話 84-4461
ファックス 84-4463

【人権・同和問題啓発標語】
なりたいいな
あいてのきもち
わかる人

〔平成29年度宝同協優秀作品〕



受講申込書は3月20日(水)からまいたに人権文化センターで配布しています

- ▽ 申込みは、各講座1教室とさせていただきます。
- ▽ 一つの講座で一つの教室しか申し込みできません。
- ▽ 申込みが定員を超える、または定員の半数に満たないなどの場合は、他の曜日の講座に変更をお願いすることがあります。
- また、定員を上回る場合は、曜日の変更を依頼しますが、調整が付かない場合は、抽選により受講生を決定します。
- ▽ 年度途中に退会されても、受講申込金は返金できません。

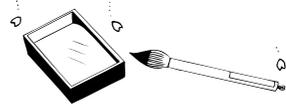
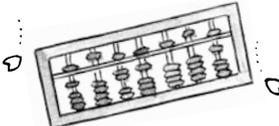
まいたに人権文化センターは、平成31年度(2019年度)の定例講座受講生を募集します。

①子ども向けとして、書道、珠算、英会話の講座を開講します。これらの講座は一般的な塾とは違い、単に習い事としてだけでなく、受講する子ども達と、交流を通じて人権を尊重する感性を育て、差別を許さない仲間作りをすることを目的としています。

②健康教室の受講生の要件は、満60歳以上の市民(平成31年4月1日現在)。要介護の認定を受けていない人で、一人で体操等ができる人となります。なお、薬を使用しても最大血圧が180以上の人は受講できません。

申し込みは
4月10日(水)~12日(金)

申込書に必要事項を記入の上、受講申込金を添えて当センター事務室までご持参ください。申込日時は4月10日(水)~12日(金)、午前10時~午後7時(健康教室のみ午後5時まで)です。



学校教育課からのお知らせ

▶まいたに人権教育文化事業

◎「わくわく発見!」・「ほのぼの親子体験」のご案内

2019年度の募集は、5月中旬に予定しています。

◎自主学習支援員大募集!

大学生の方で、小中学生の宿題や学習の手助けをしてくださる方を募集します。

16:00頃から1回3時間、週1、2回年間45回程度。
曜日・時間・回数など相談に応じます。

◎識字教室のご案内<夢をかなえるための文字>

かんたんなパソコン操作をふくむ文字の学びの場です。「よみ・かき・ことば」の学習を一緒にしませんか。

水曜日 19:00~20:30

まいたに人権文化センター内 学校教育課
篠田・古藪 ☎ 84-4500



図書室からのお知らせ

図書室には絵本や児童書など幼児向けの本をはじめ、人権関係図書や一般図書など約5千冊の蔵書を備えています。

春休み期間中は終日開室

図書室の開室時間は、月～金曜日は13時～17時、土曜日は9時15分～17時(12時15分～13時は昼休み)ですが、春休み期間中(3月26日(火)～4月7日(日))の月～金曜日は午前も開室します。

新規購入図書の紹介(一部)

- 「生きてさえいれば」 小坂流加著
- 「父からの手紙」 原田ハマ著
- 「生きるぼくら」 小坂流加著
- 「大家さんと僕」 矢部太郎著
- 「銀河鉄道の父」 門井慶喜著
- 「父からの手紙」 小杉健治著

法寿会の新春の会が開催されました。



法寿会の新春の会が1月25日(金)に開催されました。「老人クラブの歌」をみんなで歌った後、色々な社会情勢を盛り込んだ松本会長のあいさつがありました。

また、当センター所長が法寿会の日頃の活動についてお礼を申し上げた後、「映画鑑賞」と「こつこつ体操」をみんなで楽しみました。



センター登録団体代表者等人権学習会を開催しました

前期学習会について(10月19日(金)に開催)

テーマは「人権が尊重される地域社会を目指して～互いに尊重できる人間関係をもとめて～」でした。講師としてライフスキルを学ぶ会の松浦桂子さんと阿部薫さんをお招きしました。参加者は30名でした。

学習の主な内容は・・・

◎「リスペクトアザーズ(respect others)」=「他者を尊重する」をキーワードに、日々の生活の場面から「他者を尊重する」とはどういうことなのか、お互いの人権を尊重し合うために大切なことは何かを考えた。

参加者の感想など・・・

- ◎「先入観を持たず相手のことを知ろうとする気持ち」が大切だと感じた。
- ◎相手を理解することは今日明日ではできない。もっと幼年の時にこのような勉強をする必要があった。

後期学習会について(3月5日(火)に開催)

テーマは「心地よい人間関係のために～人権に配慮したコミュニケーションとは～」でした。

講師としてNPO法人女性と子どものエンパワメント関西事務局次長の井山里美さんをお招きしました。参加者は30名でした。

学習の主な内容は・・・

- ◎コミュニケーション・スキルは、生まれもった能力・技能ではなく、トレーニングが必要である。
- ◎メッセージを伝える時に大切なことは、自分の置かれている環境の把握と今の自分の精神的・身体的状況の把握である。

参加者の感想など・・・

- ◎ちょうど職場の人に、自分は共感しているのにうまくいかないと訴えられて、ああそう思っていたのかと思うことがあり、それが同調かあと。今日にまたしっかり学ぶことができ収穫がありました。
- ◎DVを受けてる母、虐待を受けて亡くなった事件。その後も悲しい事件が後を絶ちません。今、私たちが何ができるのか?どう行動しなければいけないのか知りたいです。

あのネ

— 保育所からの帰り道 —
スーパームーンの月が数日続いていたある日。
「今日もお月様がAちゃんの後ろについてくるよー」と嬉しそうにAちゃん。翌日も空を見上げると。「今日は何でお月様はお家までついてきてくれないの?」と少しさみしそうにAちゃん。どうやらスーパームーンは雲にかくれていたようです。また見られる日が楽しみだね! 4歳児

米谷保育所